

議長に新井正夫議員、副議長に杉田茂実議員を選出



6月市議会定例会は、6月6日から6月25日までの20日間を会期として開かれました。この議会では、「熊谷市税条例の一部を改正する条例」などの市長提出議案21件を審査し、17件を原案可決、4件の人事案件に同意しました。6月6日に正副議長の選挙を行い、新しい正副議長を選出しました。

正副議長を選出

6月6日、磯崎修議長、山田忠之副議長の辞職に伴い、正副議長選挙を行いました。選挙の結果は、次のとおりです。

◇議長選挙

投票総数
新井 正夫・・・28票 32票
桜井くるみ・・・2票
黒澤三千夫・・・1票



新井正夫議長

無効・・・1票
この結果、新井正夫議員が議長に当選しました。

◇副議長選挙

投票総数
杉田 茂実・・・30票 32票
大山美智子・・・2票
この結果、杉田茂実議員が副議長に当選しました。



杉田茂実副議長

監査委員の選任に同意

6月11日、監査委員に大嶋和浩議員を選任しました。

都市建設常任委員会委員長を互選

6月6日、都市建設常任委員会において、小林一貫議員が委員長に選出されました。

防災対策特別委員会委員長を互選

6月6日、防災対策特別委員会において、新井昭安議員が委員長に選出されました。

議会運営委員会副委員長を互選

6月11日、山田忠之議員が議会運営委員会副委員長に選出されました。

農業委員会委員の推薦

6月25日、議会が推薦する農業委員会委員として、松本貢市郎議員、黒澤三千夫議員、関口弥生議員、青木登喜代氏を推薦しました。

荒川北緑水防事務組合議会議員の補欠選挙

6月25日、磯崎修議員が荒川北緑水防事務組合議会議員に選出されました。

永年勤続議員表彰される

全国並びに埼玉県市議会議長会から、次の議員が永年勤続議員として表彰されました。
〔25年以上勤続表彰〕
並木正一議員
栗原健昇議員



受賞後のスピーチをする栗原議員



受賞する並木議員

6月定例会の概要

初日(6月6日)の本会議では、市長から次のような提案説明がありました。

「いよいよ、熊谷の夏を彩るたくさん祭りが、華やかに繰り広げられる。関東一の祇園であるうちわ祭は、今年も熊谷の屋台も参加するだろう。また、夜空に1万発の花火が競演する熊谷花火大会も各地から多くのお客様をお迎えして、盛大に開催される。こうした暑い夏を元気に過ごすために、昨年に引き続き暑さ対策事業を充実するとともに、今年も、官民一体となった『クールシェアくまがや』の取り組みをスタートする。これは、市民の皆様がお店や公共施設等のクールスポットに集い交流することで、無理のない節電を促すと同時に、地域の振興につなげていこう」というものである。

暑い熊谷だからこそ発信できる、健康でエコでクールな施策を、全国に先駆けて進めていきたいと考えている。

昨年、世界中を揺るがせた東日本大震災では、多くの人命を失い、今も甚大な被害に苦しみ、それを乗り越える営みの中で、すでに1年3カ月が経過しようとしている。この間、復興のための施策や財源確保のしくみ等も、徐々に整備されてきているが、今なお、多くの方が故郷に帰れず、避難生活を余儀なくされている。本市では『東日本大震災オール熊谷自立支援ネットワーク』をはじめ、官民をあげて本市へ避難された方々の生活や、被災地の復興に向けて支援を行うとともに、東日本大震災の教訓をもとに地域防災計画の見直しを進め、本市の災害対策の充実を図っている。昨年12月、県から協力依頼



熊谷花火大会



3月に行われた木くず処理の実証試験

を受けた、太平洋セメント熊谷工場の岩手県の災害廃棄物の受入れについては、先般市議会から受けた早期受け入れの要望を踏まえ、実証試験の結果や地域の報告会などを通じ、市民皆様の理解が深まったものと考え、過日、受け入れの意向を表明した。この間、議員、地元自治会長をはじめ関係皆様方のご理解とご協力をいただいたことに、深く感謝申し上げます。何よりも優先されるのは、市民の安心、地域の安全である。受け入れ後も、県、市により継続した測定結果を市民の皆様にお知らせしていくことで、いささかの不安の念を抱かせることのないよう、万全を期する。

岩手県野田村をはじめ被災された自治体が復旧復興に向かつて力強く歩まれることを心から願っている。先月、本市の誇る歓喜院の聖天堂が国宝に指定されるといふ、素晴らしいニュースが飛び込んできた。絢爛豪華なその姿は、技術の高さと同時に、庶民の生活を情感豊かに表現しており、民衆の寄進によって建立された建物として、は全国で初めての指定であり、誠に喜ばしく誇らしい限りである。また、その彫刻がきつかけとなり、先週、第67期本因坊戦が開催されたが、関連行事もあわせて、多くの囲碁ファンが集い、大変盛り上がった。こうした素晴らしい文化を核として、全国からさらに多くの皆様に本市を訪れていただけるよう、振興施策を進めていきたい。景気状況に目を向けてみると、五月の月例経済報告は、『景気は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。』というものだった。ようやく景気回復の動きが確かなものとなること、が期待される一方で、欧州各国の債務危機を巡る金融市場

国の債務危機を巡る金融市場の変動、電力供給の制約や原油高の影響など、多くの不安要因が残っている。

また、国会では『社会保障と税の一体改革』を巡る議論が佳境に入っている。急速な少子高齢社会が進む中で増大する社会保障費に対応するためには、税財源の充実は必要であるが、このことは今後の景気状況や市政運営に大きく影響することから、その動向を注視しているところである。

今定例会に提案する議案について、説明をする。

今回の補正予算は、一般会計補正予算及び公共用地先行取得特別会計補正予算である。本来であれば、平成24年度予算の執行が始まり、まだ間もない時期なので、その中での対応に努めるべきで、緊急を要するものについて計上した。

はじめに、一般会計補正予算の歳出について説明すると、民生費では、昨年の台風12号で亡くなられた方への災害弔慰金を、また、大里第二、第三保育所を統合の上、新たな保育所として平成26年4月のオープンに向けて、大

里保健センターを改修・転用するための設計委託料を計上する。

また、民生費、商工費及び土木費では、市民の皆様からいただいた寄附金を市民しあわせ基金、ふるさと熊谷の祭り応援基金、みどりの基金にそれぞれ積み立てる。あわせ基金への寄附を活用し、荒川区の山車に対し、補助金を追加する。



荒川区の山車

歳入は、これらの事業の財源として、県支出金、寄附金などの特定財源と併せて、前年度繰越金を充てる。

次に、債務負担行為では、平成25年4月から、市街地の一部地域について、可燃・不燃ごみの収集運搬業務の民間委託を新たに実施するための準備手続を行うために、債務負担行為を設定する。

続いて、公共用地先行取得特別会計の歳出は、新星川

改修事業の円滑な推進を図るために、事業用地を早急に確保するための費用を追加する。

次に、一般議案については、地方税法の一部改正に伴い、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を設ける等の改正を行う『熊谷市税条例の一部を改正する条例』などを提案する。

11日の本会議では、所管の常任委員会に付託されました。12日には、総務文教常任委員会、福祉環境常任委員会において、また、13日には、市民産業常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案等について審査が行われました。18日、19日、20日の3日間は、19人の議員による市政に関する一般質問が行われました。最終日（25日）の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。また、人事案件に同意し、6月定例会は閉会しました。

可決された主な議案

◇平成24年度熊谷市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,346万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ575億9,346万8千円とするものです。

◇平成24年度熊谷市公共用地先行取得特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1,209万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ2億6,200万1千円とするものです。

◇公益的法人等への熊谷市職員への派遣等に関する条例の一部を改正する条例

社団法人熊谷市シルバークラブが公益社団法人として認定を受けたことおよび財団法人大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンターが一般財団法人として認定を受けたことに伴い、当該団体の名称を変更するものです。

◇熊谷市税条例の一部を改正する条例

「地方税法」の一部改正に伴い、公的年金に係る所得以外の所得を有しなかった者の寡婦（寡夫）控除に係る申告書の提出を不要とするともに、東日本大震災に係る被災者居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を設けるものです。

◇熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

「地方税法」の一部改正に伴い、東日本大震災に係る被災者居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を設けるものです。

◇熊谷市公園条例の一部を改正する条例

有料公園施設の管理を指定管理者に行わせる場合における利用料金収入の帰属に関する規定の整備を行うものです。



◇工事請負契約の締結について
籠原、三尻、熊谷南小学校の各屋内運動場建築工事の請負契約を締結するものです。

◇大里広域市町村圏組合の規約改正について
「住民基本台帳法」の一部改正に伴い、大里広域市町村圏組合規約を変更するための協議をするものです。

◇市道路線の認定について
和田吉野川の河川改修工事等に伴い、市道路線の認定をするものです。

◇市道路線の廃止について
和田吉野川の河川改修工事等に伴い、市道路線を廃止するものです。

固定資産評価員の選任に同意

6月25日、固定資産評価員として、戸森重雄氏の選任に同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦に同意

6月25日、人権擁護委員と

して、新木弘子氏、杉浦則子氏の推薦に同意しました。

市議会インターネット中継も、ぜひご覧ください。

市議会では開かれた議会を目指して、多くの皆さんに市議会本会議をご覧いただくため、インターネット中継を実施しています。掲載しました6月定例会も録画にてご覧になれますので、ぜひご利用ください。
詳しくは市ホームページの市議会バナーをクリックしてください。



トピックス

熊谷市へ先進地行政視察にお越しいただきました

4月5日 埼玉青志会（県内若手市町議会議員有志）
「あついぞ！熊谷」の取り組みについて

4月19日 鳥取市議会総務企画委員会
協働のまちづくりについて

6月14日 本庄市議会議会基本条例等調査特別委員会
熊谷市議会議員政治倫理条例について

市長に要望書を提出しました

5月22日、東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れに関する要望書を議会から市長へ提出しました。



磯崎議長(当時)と山田副議長(当時)から市長へ要望書を提出

防災対策特別委員会行政視察

防災対策特別委員会では、5月28日、29日に岩手県野田村と一関市を視察しました。野田村では熊谷市で受け入れることとなったがれきの現状を視察し、村内各所に高く積み上げられたがれきは野田村近辺で広域的に処理しても100年はかかる量とのこと、がれきが村の復興の妨げになっていることを実感しました。

野田村小田祐土村長の話



野田村でも大量のがれきが発生し、地元だけでは処理できず他自治体をお願いしています。原発事故による放射能汚染については、逆の立場になれば、私たちも同じ心配をすと思えます。ですから、きちんと検査して、安全なものを処理いただくようにしています。

一関市では自主防災組織について、一関市職員から説明を受け、総合防災センターを見学しました。震災時の避難所での様子を伺い、地域コミュニティがうまく取れているところは避難所の運営がうまくいき、そうでない避難所はトラブルが多かった。このようにときに普段からのつながりが役に立つのだというお話が印象的でした。



野田村でのがれきの選別作業



一関市総合防災センター